

シラバス

科目名：生涯学習概論	担当教員名： 渡邊洋子・相庭和彦・宮園衛・木村いほ子・山本詩織
------------	------------------------------------

- 単位数：2 単位
- ねらい、到達目標

生涯学習および社会教育の本質について理解を図ることを目的とする。

【到達目標】1. 生涯学習・社会教育における基本的考え方を説明できる。2. 現代社会における生涯学習・社会教育の役割と地域社会における具体的取り組みの意義と可能性について、実践的・創造的視点から意見を述べられる。3. 講義内容とディスカッションを踏まえつつ、独自の考察を加えて、課題に対応した論述を行うことができる。

- 科目概要

生涯学習の意義、社会教育・生涯学習の歴史的理解、人権同和教育、生涯学習と学校教育と生涯学習、グローバリゼーションと社会教育、男女共同参画と社会教育、子育て・家庭教育支援と社会教育、ノーマライゼーションと社会教育、生涯学習・社会教育の専門人材育成、生涯学習施策と社会教育、地域社会と生涯学習、コミュニティスクールと社会教育、生涯学習振興と社会教育行政の動向、生涯学習におけるウェルビーイングについて、概説する。

- 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義・演習	社会教育主事・社会教育士の職務
第 2 回	講義・演習	生涯学習・社会教育の基本 1（生涯学習の意義と理念）
第 3 回	講義・演習	生涯学習・社会教育の基本 2（社会教育の意義と歴史的理解）
第 4 回	講義・演習	生涯学習・社会教育を捉える視点 1（人権・同和教育と生涯学習）
第 5 回	講義・演習	生涯学習・社会教育を捉える視点 2（グローバリゼーションと社会教育）
第 6 回	講義・演習	生涯学習・社会教育を捉える視点 3（男女共同参画と社会教育）
第 7 回	講義・演習	生涯学習・社会教育の重点領域 1（子育て・家庭教育支援と社会教育）
第 8 回	講義・演習	生涯学習・社会教育を重点領域 2（ノーマライゼーションと社会教育）
第 9 回	講義・演習	生涯学習・社会教育の施策と課題 1（生涯学習・社会教育関係人材の育成）
第 10 回	講義・演習	生涯学習・社会教育の施策と課題 2（生涯学習施策と社会教育施設）
第 11 回	講義・演習	生涯学習社会における学校・家庭・地域の連携 1（学校教育と社会教育）
第 12 回	講義・演習	生涯学習社会における学校・家庭・地域の連携 2（地域社会と生涯学習）
第 13 回	講義・演習	生涯学習社会における学校・家庭・地域の連携 3（コミュニティスクール）
第 14 回	講義・演習	生涯学習の現代的課題 1（生涯学習振興・社会教育行政の最新動向）
第 15 回	講義・演習	生涯学習の現代的課題 2（生涯学習社会におけるウェルビーイング）

- 評価について

- ・ 授業参加度 20%（講義の合間に行うディスカッションやコメントへの参加）
- ・ 小レポート 40%（各回の授業ごとに実施するコメントシートへの記載）
- ・ 総括レポート 40%（全授業回終了後に実施するレポートへの作成）

以上の結果を総合的に踏まえて判定する

- 備考

・ 生涯学習と社会教育については、概念的理解と意義、成立・発展の歴史的経緯、法的・行政的位置づけと行政施策の概況などにおける両者の違いを明確にしつつ、多面的観点から両者の理解を深めるようにする。

シラバス

科目名：社会教育経営論	担当教員名：雲尾周・真柄正幸・種村文孝・渡邊洋子
-------------	--------------------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

人づくり・地域づくりを中核的に担える力をつけるため、地域の実情やニーズを踏まえた社会教育・生涯学習活動を計画・組織できるようになることを目指す。

【到達目標】：1. 社会教育・生涯学習の行政や法規、地域の実情やニーズを踏まえて、社会教育・生涯学習を計画する話し合いに積極的に参加できる。2. 社会教育施設を活用し、多様な主体との連携・協働を視野に入れた学び合いの活動がデザインできる。3. 学習成果を地域課題解決や地域振興、学校の協働等にもつなげていくための工夫やしかけを挙げることができる。

● 科目概要

社会教育・生涯学習行政と関係法規、社会教育行政の経営と計画、生涯学習振興と社会教育計画、社会教育主事・社会教育士の役割と現代的課題、学びの環境醸成とコーディネート、評価と学習成果の活用、広報、公民館と社会教育、図書館と社会教育、博物館と社会教育、地域課題の把握と地域課題解決への取組、地域振興と社会教育、地域の担い手育成と連携・協働ネットワーク、新しい公共と指定管理者制度等の内容について、講義と演習を交えながら扱い、実践力を育成する。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第1回	講義・演習	社会教育経営論の基本1（社会教育法等関連法規と生涯学習行政）
第2回	講義・演習	社会教育施設の機能と経営1（公民館）
第3回	講義・演習	社会教育施設の機能と経営2（図書館）
第4回	講義・演習	社会教育施設の機能と経営3（博物館）
第5回	講義・演習	社会教育経営論の基本2（社会教育行政の経営と計画）
第6回	講義・演習	社会教育主事・社会教育士の役割と現代的課題
第7回	講義・演習	社会教育経営論の基本3（生涯学習振興と社会教育計画）
第8回	講義・演習	社会教育主事・社会教育士の仕事1（評価と学習成果の活用）
第9回	講義・演習	NPO と社会教育
第10回	講義・演習	社会教育主事・社会教育士の仕事2（学びの環境醸成とコーディネート）
第11回	講義・演習	地域課題の把握と地域課題解決への取り組み
第12回	講義・演習	地域振興と社会教育
第13回	講義・演習	地域の担い手育成と連携・協働ネットワーク
第14回	講義・演習	新しい公共と指定管理者制度
第15回	講義・演習	社会教育主事・社会教育士の仕事3（広報）

● 評価について

- ・授業参加度 20%（講義の合間に行うディスカッションやグループワークへの参加）
- ・小レポート 40%（各回の授業ごとに実施するコメントシートへの記載）
- ・総括レポート 40%（全授業回終了後に提出するレポートの作成）

以上の結果を総合的に踏まえて判定する

● 備考

- ・法令については、「社会教育法等関係法規と生涯学習行政」において、主に社会教育法（および日本国憲法・教育基本法）、「生涯学習振興法」、地方自治法など、社会教育・生涯学習に関わる重要なものと主要論点などについて扱う。
- ・地域との連携に向けて、受講者が視野と実践力を培うことができるようにするため、「地域振興と社会教育」では新潟県内の地域づくり NPO の関係者、「地域の担い手育成と連携・協働ネットワーク」では地域の人材育成に関わる関係者をゲストスピーカーとしてお迎えし、担当講師と連携しつつ、双方向的な時間を創出する。

シラバス

科目名：生涯学習支援論	担当教員名：渡邊洋子・田中一裕・佐伯知子・真柄正幸
-------------	---------------------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

地域社会における一人ひとりの学習者の多様な特性や学習ニーズ、学習課題を踏まえ、様々な学習の形態・方法を活用した学びの場や学習機会を企画立案・運営できるようになることを目指す。

【到達目標】 1. 学習者理解に関わる基本的な理解と実践上の留意点を、言葉で他者に伝えられる。2. 多様な学習方法・学習支援方法の理解をもとに、実際に対面的な場面で選んだ方法を試してみることができる。③実際に試してみた結果を口頭・文章で振り返り、達成できたことと課題・改善策を言葉で示すことができる。

● 科目概要

学習支援の基本的な考え方、学習者理解と学習者支援、成人学習／教育の理論、学習支援者の役割、学習者（成人、高齢者、子ども・若者）理解、参加型学習を含む多様な学習方法・ファシリテーションなど学習支援方法、ICT を活用した学習・学習支援、学習情報提供と学習カウンセリング、学習カウンセリングの実践、学習プログラムの企画立案等を取り扱い、講義と演習の両形式を用いながら理解と習得をはかる。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義・演習	生涯学習支援論の基本 1（学習支援の基本的な考え方）
第 2 回	講義・演習	生涯学習支援論の基本 2（学習者理解と学習者支援）
第 3 回	講義・演習	生涯学習支援論の基本 3（成人学習／教育の理論）
第 4 回	講義・演習	学習者の個人支援 1（学習情報提供と学習カウンセリング）
第 5 回	講義・演習	学習支援の方法 1（ICT を活用した学習・学習支援 1）
第 6 回	講義・演習	学習支援の方法 2（ICT を活用した学習・学習支援 2）
第 7 回	講義・演習	学習支援の方法 3（多様な学習方法の実践）
第 8 回	講義・演習	学習支援の方法 4（ファシリテーションと多様な学習支援）
第 9 回	講義・演習	学習支援者の役割
第 10 回	講義・演習	学習者理解の構図 1（成人学習者の特徴と学習ニーズ）
第 11 回	講義・演習	学習者理解の構図 2（高齢化と学習支援）
第 12 回	講義・演習	学習者理解の構図 3（子ども・若者の学習課題と生涯学習）
第 13 回	講義・演習	学習プログラムの企画立案 1（視点）
第 14 回	講義・演習	学習プログラムの企画立案 2（実践）
第 15 回	講義・演習	学習者の個人支援 2（学習カウンセリングの実践）

● 評価について

- ・ 授業参加度 20%（講義の合間に行うディスカッションやグループワークへの参加）
- ・ 小レポート 40%（各授業で実施するコメントシートへの記載）
- ・ 総括レポート 40%（全授業回終了後に提出するレポートの作成）

以上の結果を総合的に踏まえて判定する

● 備考

・ 地域との連携に向けて、受講者が視野と実践力を培うことができるようにするため、「子ども・若者の学習課題と生涯学習」では新潟県内の青少年活動組織の関係者をゲストスピーカーとしてお迎えし、担当講師と連携しつつ、双方向的な時間を創出する。

シラバス

科目名：社会教育演習	担当教員名：渡邊洋子・真柄正幸
------------	-----------------

- 単位数：2 単位
- ねらい、到達目標

生涯学習概論、生涯学習支援論、社会教育経営論の受講成果を活かし、学習者の多様な特性や学習ニーズに対応した学習の場や学習機会のデザインできるようになることを目指す。

【到達目標】 1. 学習者の特性や学習ニーズについて考慮すべき事項を言葉にできる。2. 柔軟で多様な学習支援方法や多様な主体と連携・協働を取り入れた学習プログラムに向けて、話し合いに積極的に参加できる。3. 学習者の地域社会への参画に向けた意欲を喚起し、学習成果を地域課題解決や地域づくり、地域学校協働につなげる工夫や振り返りの議論ができる。

- 科目概要

事前にグループで決めた学習テーマに基づいて社会教育・生涯学習施設のフィールドワークを行い、生涯学習概論、生涯学習支援論、社会教育経営論で学んだ生涯学習・社会教育の考え方や方法論を活用しながら、グループごとに学習プログラムを作成する。同プログラムはリデザインを経て、全体に向けたプレゼンテーションで共有し、振り返りを行う。以上を通して、社会教育主事・社会教育士の職務遂行に必要な資質・能力の総合的・実践的な定着をはかる。授業実施に際しては、学外フィールドとオンライン演習を適宜、組み合わせて、学習実践の現場感覚をより体感できるようなものとする。

- 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第1回	演習	社会教育演習のイントロダクション（方針とスケジュール）
第2回	演習	社会教育・生涯学習フィールド調査1（アグリパーク宿泊研修）
第3回	演習	社会教育・生涯学習フィールド調査2（新潟市内社会教育施設等）
第4回	演習	社会教育・生涯学習フィールド調査3（新潟市内社会教育施設等）
第5回	演習	学習プログラム作成① 課題の把握
第6回	演習	学習プログラム作成② 方針の決定
第7回	演習	学習プログラム作成③ 学習展開計画1
第8回	演習	学習プログラム作成④ 学習展開計画2
第9回	演習	学習プログラムのリデザイン・プレゼン準備
第10回	演習	プレゼンテーション・振り返り・まとめ

- 評価について

- ・授業参加度 30%（講義の合間に行うディスカッションやグループワークへの参加）
 - ・小レポート 30%（各授業で実施するコメントシートの記載）
 - ・総括レポート 40%（演習終了後に、個人個人が学習プログラムを作成）
- 以上の結果を総合的に踏まえて判定する

- 備考

- ・イントロダクションでは、フィールド調査および学習プログラム作成に向けて、生涯学習概論・社会教育経営論・生涯学習支援論の授業内容を改めて振り返り、関連する社会／地域／生活課題を意識しながら、各グループの基本方針を明確にするための事前準備の時間を設ける。